

## 四代 徳田 八十吉展

この度、加古川ヤマトヤシキにて加古川では初となる「四代 徳田八十吉展」を開催いたします。

徳田先生は、2010年3月に四代 徳田八十吉を襲名されました。

歴代の八十吉、四代の曾祖父で九谷焼の名工、初代 徳田八十吉から釉薬の調合を受け継いだ父、三代 八十吉は200種類以上の色を創り出し、伝統的な九谷焼の絵模様の世界から「彩釉磁器」という技法と豊富な色のグラデーションによる抽象表現の新しい九谷焼の世界を創り出しました。

その徳田家の色と技法を受け継ぎ、四代独自の感性のもとに創作活動に取り組んでおられます。

本展は、三代が使用しなかった赤などの色を用いた「紅の扉」、「祭華」、「沙華」の三部作を中心に新作の数々を展覧いたします。

【会期】 2024年3月27日(水)～4月1日(月)

午前10時～午後6時30分 ※最終日は午後5時閉場

※作家来場日：3月30日(土) 午後2時よりトークショー開催・31日(日)

【会場】 3階 特設会場



彩釉鉢・翠澄  
径 52.5×高さ 11.0cm



彩釉花器・沙華  
径 25.5×26.5×高さ 28.0cm



彩釉壺・猩々  
径 28.0×30.0cm



彩釉壺・瑞穂  
径 28.0×高さ 28.0cm

# 陶歴



- 1961年 石川県小松市にて、人間国宝・三代徳田八十吉の長女として生まれる  
1980年 石川県立小松高校卒業 米国ジェームスタウン高校へ留学  
1983年 青山学院女子短期大学卒業  
1984～86年 NHK金沢放送局(ニュースキャスター)  
1986～89年 父・三代八十吉の秘書 着物ミッションとして世界各国を訪問  
1990年 石川県立九谷焼技術研修所卒業 第46回県展入選  
朝日陶芸展'90入選 オーストラリア巡回  
1991年 陶壁「動輪」制作(JR金沢駅) その後 小松すこやかセンター他でも制作  
金平工房完成 金平にて創作活動開始  
1997年 英国ゲーツヘッド市で共同制作した陶壁がジャ パンフェスティバル賞・グランプリ受賞  
マレーシア・クアラルンプール美術大学で陶芸指導  
2010年 四代 徳田八十吉を襲名(同時に順子から八十吉に 改名)  
2012年 日本工芸会正会員に推挙  
2015年 JR金沢駅コンコース門型柱の陶板制作  
2016年 曳山250年記念 五彩曳山(小松市)協働制作に参加(花道制作)  
(以降2基目、3基目制作にも参加)  
2017年 イオンモール新小松の「九谷五彩柱」協働制作に参加(3作)  
2018年3月 ニューヨーク 大西ギャラリーにて個展

## ■受賞

- 第31回伝統九谷焼工芸展技術賞(2008年) 第71回一水会陶芸部公募展木下記念賞(2009年)  
第33回伝統九谷焼工芸展大賞(2010年) 第51回石川の伝統工芸展奨励賞(2010年)  
第72回一水会陶芸部公募展一水会賞(2010年) 第35回伝統九谷焼工芸展優秀賞(2012年)  
第68回現代美術展エフエム石川社長賞(2012年) 第53回石川の伝統工芸展奨励賞(2012年)  
金沢城・兼六園大茶会第18回工芸作品公募展奨励賞(2012年)  
第55回石川の伝統工芸展日本工芸会賞(2014年)  
金沢城・兼六園大茶会第20回工芸作品公募展奨励賞(2014年) 第71回現代美術展北國賞(2015年)  
第39回伝統九谷焼工芸展連合会理事長賞(2016年) 第4回陶美展奨励賞(2016年)  
第73回現代美術展佳作賞(2017年) 第74回現代美術展能美市長賞(2018年)  
第43回伝統九谷焼工芸展北國新聞社賞(2020年)

## ■主な公募展入選

- 日本伝統工芸展(2008年 2009年 2010年 2012年以降毎年入選)  
第1回公募展「茶の湯の現代 -用と形-」(菊池寛実記念 智美術館 2012年) 他

## ■パブリック コレクション

- 米国 インディアナポリス美術館、石川県立美術館、英国 大英博物館、米国 アート コンプレックス美術館、米国 シンシナティ美術館、在米日本国大使館、金沢美術工芸大学 他  
※奉納 神峯山寺<大阪府高槻市>、妙成寺<石川県羽咋市>、如来寺<石川県金沢市>

## ■個展 グループ展 その他

- 全国の百貨店 画廊にて多数開催「九谷よ永久に 八十吉 四代」刊行(北國新聞社 2015年)・

[お問い合わせ]

営業企画部 永江

079-425-1221